

## 若い世代に伝えたい、命の大切さ～性教育を通して～

国立病院機構指宿医療センター 助産師一同

当院は年間約 200 件の分娩を取り扱う指宿地域唯一の分娩施設です。近年、いのちの大切さを軽視するような犯罪が大きな問題となっていますが、現場で働く助産師は日々生まれてくる命と向き合い、命の尊さを痛感しています。そんな思いを次世代に伝えたいという思いで、地域の小・中・高等学校に出向いて生命の誕生の神秘やいのちの大切さを伝えていく活動を行っています。思春期の身体的・精神的変化に対する正しい知識を提供し、「自分の命も他の人の命も同じ」「一人一人のやさしさ、思いやりを大切にしてほしい」など、命の大切さや自分自身を大切にすることを伝え、最後に必ず「生きているだけで 100 点満点」という言葉で自分自身の存在意義を考えてもらうようにしています。

生徒さんからの感想では、いじめを受けた経験がある生徒さんから「私が生きる意味ってなんだろうと思いました。でも生きているだけで 100 点と聞いて、生きていることが大切なんだと思いました」といった言葉や「自分の命、親、友達の命を大切にしていきたい」などの気持ちを聞くことができやがいを感じています。今後も地域に向けて、私たち助産師ができる事は何かを考え活動していきたいと思っています。



## 第9回 指宿医療センターサマーコンサート開催

経営企画係長 角 大輔



平成27年7月12日(日)、当院リハビリ室において、第9回サマーコンサートを開催致しました。

同イベントは、主に入院患者様を対象に患者サービスの一環として毎年開催しているもので、今年で9回目を迎えることができました。若い人のエネルギーをもらって元気になっていただきたいとのコンセプトのもと、近隣の鹿児島県立指宿高等学校、指宿市立指宿商業高等学校の各吹奏楽部に隔年ごとに演奏いただいております。今年是指宿高等学校に演奏いただきました。南九州地域は6月初旬より梅雨入りし、今年は例年になくらい雨が降り続き、当日は

台風の可能性まで報じられましたが、なんとか好天に恵まれ、約70名程度にご観覧いただきました。

当日は、演奏はもちろん、演奏に合わせたダンスもご披露いただきました。高校生のハツラツとした動きに会場は大いに沸きました。また、力強い演歌独唱、会場全員での合唱等、様々な催しをご披露いただきました。幅広い選曲で、こどもからお年寄りまで皆様楽しんでいただくことができました。

顧問の脇先生には、お忙しい中、事前の打ち合わせにて、同イベントの趣旨をご理解いただき、企画演出いただきました。心より感謝申し上げます。また、演奏中は当院看護師および鹿児島医療センター附属看護学校の看護学生ボランティアの皆様方による献身的な介助によって事故なくイベントを終えることができました。

今後も地域の皆様方とともに指宿の地域医療に貢献してまいりたいと思います。

